

いわきの子

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

岩城小学校
学校便り
第17号
R6.7.16

文責：東海林

地域が元気に！ 子どもたちが輝いた旧藩祭

7月13日（土）、晴天のもと第43回旧藩祭を無事開催することができました。笛・太鼓、プラカード持ち、演奏山車の引き手、手踊り等それぞれの役割を立派に果たしてくれました。暑さの中、全校児童一丸となって練り歩いた姿を誇りに思いました。

沿道ではたくさんの拍手をいただきながら、子どもたちは「エイヤー」の掛け声とともに気持ちを引き締めているようでした。本当によくがんばりました。

これまで約1ヶ月間笛や太鼓、手踊りのご指導いただき、当日の朝も着付けやお化粧をお手伝いいただいた指導者、地域の皆様、ありがとうございます。行政の皆様には安全確保のため、暑さ対策等含め、水分補給や緊急車両等についてもご協力いただきました。また、着付け、演奏山車の引き手や給水のお手伝い、子どもたちへの随行をしてくださいました保護者・前職員の皆様、ご協力ありがとうございました。皆様のおかげをもちまして、子どもたちが輝く一日となりましたことに深く感謝申し上げます。



※旧藩祭の様子は、本日16日（火）ゆりほんテレビにて放送される予定です。
ぜひご覧ください。

また、写真は学校ホームページでも紹介していく予定です。

由利本荘市教育委員学校訪問

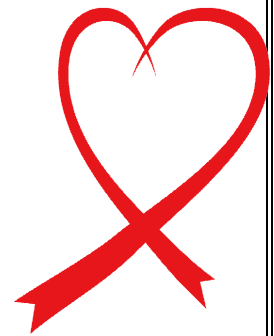
7月8日（月）は、由利本荘市教育委員会秋山正毅教育長、小坂綾子教育委員、熊谷信幸教育次長、倉田和人学校教育課長、三浦浩信岩城教育学習課長、小番誠指導主事による市教委学校訪問がありました。3校時に全学級の授業を参観していただき、その後ご指導をいただきました。

委員の皆様からは、「先生方が笑顔で授業を行っていて、子どもたちのよさをたくさん認めていた。」「全体的に落ち着いて学んでいた。」「授業の中でタブレットを積極的に活用し、一人一人に応じた学びが展開されていた。」などと、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。

校長室から

アタッチメント

「アタッチメント（愛着）」という言葉をよく耳にします。子どもの本能的な欲求に目を向けた子育てで、くっついて安心感に浸りたいという欲求が満たされると子どもの心や行動が安定するというものです。先日、NHKの番組で特集がありました。よく癇癪を起こす子ども（幼児）に対して、1日最低5分、子どもの遊びに寄り添う、見守るだけで感情を爆発させる行動が減っていく様子が紹介されていました。1日たった5分で癇癪がおさまるのか？と思いましたが、親が子どもに感心を寄せることで子どもは安心するのだそうです。（あれこれ口出しするのはNG. 褒め言葉や認める声かけはOK。）「僕・私のことを見ている」という安心感が子どもの成長過程において必要かつ重要で、特に幼児期が大事という話でした。ただ、小学生からでも遅すぎることはないそうです。膝の上に座らせたり、ぎゅーっと抱きしめたりするのもいいですね。子どもは親にかまってほしい、話を聞いてほしい、注目してほしいものです。1日5分、やってみませんか。



ありがとうございました

青少年育成由利本荘市民会議岩城支部長中村繁喜様より、岩城小学校の教育活動に役立ててほしいと、「地域文化伝承活動支援金」をいただきました。子どもたちのために、有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

お願い

7月12日付けで「第1回 保護者アンケート」をお願いしています。もうすでにご回答をいただいている方もいらっしゃいました。ありがとうございます。7月24日（水）までご回答をお待ちしています。お忙しいとは存じますが、子どもたちの教育のためご協力をお願いいたします。

